

三重県産業廃棄物対策推進協議会



活動紹介

※代表企業輪番制のため毎年変更となります。2021年度は東ソー(株)四日市事業所、2022年度は第一工業製薬(株)四日市工場です。

・ 答志島清掃活動

例年11月に、三重県鳥羽市答志島にある「奈佐の浜」にて、三重県産業廃棄物対策推進協議会主催で「海岸清掃活動」を行います。2020年度は当協議会に加盟する三重県内の12企業、及び三重県環境行政の職員を合わせて、約50名の方々が清掃活動に参加しました。2021年度については新型コロナウイルスの感染拡大により11月は延期としており、2022年3月に感染状況を鑑みて開催する予定としています。この清掃活動は2012年から始まり今回で10年目となります。

伊勢湾流域を発生源とする流下ごみは年間1万トンを超えと言われており、そのうち答志島には数千トンが漂着します。当日、海岸にはカラフルなプラスチックごみが遠目にも沢山見受けられ、ごみである発泡スチロールやプラスチック袋は劣化して細かく脆くなっていました。海を漂流する中で細かく分解された海洋プラスチックは「マイクロプラスチック」と呼ばれ、全世界レベルでの大きな環境問題となっています。

当日は晴天でしたが風は強く、若干高い波が押し寄せる中での作業となりましたが、参加者はごみの回収に苦戦しながらも、2時間ほどの清掃活動で約700kgのごみを回収しました。今後も三重県産業廃棄物対策推進協議会として海洋プラスチック問題の改善に向け、積極的に参画していきます。

PR

産業廃棄物の排出事業者が一体となって、産業廃棄物の減量及び再資源化の推進、適正処理対策の確立、地域環境の保全と事業活動の発展に資する目的として昭和50年に当協議会が発足され、今年度で47年目を迎えています。

〈奈佐の浜：海岸清掃の写真〉

